

敷島北小学校 学校関係者評価書

令和5年2月8日(水)

敷島北小学校 学校関係者評価委員会作成

学校関係者評価委員会

実施日：令和5年2月8日(水) 午後3時～

会場：敷島北小学校 会議室

参加者：学校評議員：飯沼源治 高橋みさ子 長田知子 大館友子

学校：(校長) 立澤正二 (教頭) 花形一満 (教務主任) 江頭祐二

I 学校側から提案された内容

- ・「教職員による自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」の分析結果及び課題点と改善策を示した「自己評価書」について
- ・自己評価集計結果表 児童アンケート集計結果表 保護者アンケート集計結果表について

II 協議された主な内容

- ・各項目における達成状況と改善策について
 - 1 学校教育目標, 学校経営, 学校運営について
 - 2 学習指導について
 - 3 生徒指導について
 - 4 地域との連携について
 - 5 学校の特色について
 - 6 創甲斐教育について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

教職員による自己評価では, 肯定的回答(A・B)の平均が97.9%と高い評価であり, 校長の経営方針の下, 教職員が共通意識をもって学校教育目標の達成に向け教育活動を行っていることがわかる。

児童アンケートでは, 肯定的回答(A・B)の平均が87.3%と高い評価であり, 教育活動全般にわたり, まじめに取り組む児童が育っている。

保護者アンケートでは, 肯定的回答(A・B)の平均が82.2%と高い評価であり, 学校・家庭・地域の連携協力のもと児童の生きる力(知・徳・体)の育成を目指し, 学校教育活動が推進されている。

Ⅱ 特 徴

1 学校教育目標, 学校経営, 学校運営について

- ・自己評価では, 全体的に肯定的な評価が多く, 教職員が共通意識をもって学校教育目標の達成に向け, 教職員一人一人が主体的に学校運営に参画していることがわかる。
- ・危機管理マニュアルの理解に関しては, 児童の生命に関わる重大な課題であるので, 職員の共通理解のもと実践的な避難訓練を行い, 教職員の危機管理意識の醸成に努めると共に, 児童の安全教育・防災教育をすすめてほしい。
- ・保護者アンケートの「学校は熱心に授業に取り組んでいる。」「相談できる先生がいる。」「学校だより, ホームページなどから教育活動の様子を知ることができる。」の項目で肯定的な評価が多く, 先生方が工夫をして教育活動を行っていることがわかる。

2 学習指導について

- ・自己評価では, どの項目も肯定的な評価であり, 各教科の基礎基本の習得のための取り組みや児童の学びの意欲を喚起する授業づくりを行っていることがわかる。
- ・自己評価において, 「ICTを効果的に活用した授業を行っている。」の項目で, 昨年度より肯定的な評価が増え, 改善が見られる。
- ・児童アンケートの「授業は楽しいですか。」「先生はよく勉強を教えてくださいませんか。」の学習に関する項目で肯定的評価であり, 児童が興味関心をもって授業に取り組んでいる様子が見える。
- ・業前タイムでの読書力や国語の言語能力の向上を図る取り組みが, 児童の国語力の向上に役立っていると思われる。

3 生徒指導について

- ・自己評価では, 生徒指導全般について, 肯定的な回答が多く, 教職員が規範意識を育む指導等に意欲的に取り組んでいることがわかる。
- ・キャリア教育については, 地域の方を講師に招いたキャリア学習など地域の教育力を活用した取り組みもできたらと思う。
- ・児童アンケートの「困った事があったら相談できる先生がいますか。」で肯定的な評価が, 昨年度より低下している。また, 「いない」の回答も4.4%ある。児童一人一人に目を向けながら, 職員間の共通理解を図り, 問題行動の早期発見・早期対応に全校体制で粘り強く取り組んでほしい。
- ・あいさつについては, 児童アンケート・保護者アンケート共に肯定的な評価が多いが, さらに向上していく為に今年度新たな取り組みとして地域の方々と連携したあいさつ運動をおこなった。この活動をこれからも広げてほしい。

4 地域との連携について

- ・自己評価においては、地域との連携について、全ての項目で高評価である。保護者アンケートでも「学校（学年・学級）だより、ホームページなどから教育活動の様子を知ることができる。」「授業参観や学校開放日などは、子どもの様子を知る機会になっている。」の項目で高評価の回答を得ている。
- ・一方「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けている」では、昨年度より評価が下がっている。改善策として、PTA委員会や家庭訪問、個別懇談等あらゆる機会を利用し、お互いに情報を共有してほしい。また、学校行事の折には、終了後保護者アンケートなどを行い、保護者や地域の意見を積極的に取り入れていってほしい。

5 学校の特色について

- ・自己評価、保護者アンケートとも「学校は学校行事や児童会行事に力を入れて取り組んでいる。」について高い評価であり、学校が児童の豊かな人間性の発達を目指し、学校活動を行っていることがわかる。
- ・今年度もコロナ禍で学校行事や児童会行事、業前の活動等が制限される中工夫してできることを考え行ってきたことがわかる。
- ・おやじの会や母親の会・帰り道見守り隊など、地域の力を活用して、学校行事・学習活動（米づくり・地域の学習）・環境整備・安全防犯の取り組みなど連携して行っている様子がわかった。

6 創甲斐教育について

- ・自己評価の創甲斐教育に関わる項目の「積極的な読書活動の取り組み」「児童の実態に則した道徳の指導」「児童の体力向上や健康指導」全ての項目で、高評価となっている。日頃から、教職員が創甲斐教育に積極的に取り組んでいることがわかる。これからも、児童の知・徳・体のバランスの取れた育成に取り組んでいってほしい。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・「チーム学校」としての学校職員や外部機関との連携協働体制の構築
- ・危機管理マニュアルの周知徹底と防災対策の推進
- ・児童の実態に応じたキャリア教育の推進
- ・児童一人一人に目を向けたきめ細かな児童生徒理解と指導
- ・学校情報の積極的な公開と家庭・地域のニーズの把握に努めた学校・家庭・地域との連携協働の推進

※特記事項

- ・特になし

記載責任者（敷島北小学校 学校関係者評価委員） 氏名：飯沼 源治

